**平成２９年度　大阪市病床機能懇話会　概要**

日時：平成２９年８月２２日（火）１４：００～１５：００

場所：大阪市役所　地下１階　第３共通会議室

**■（１）「病床機能報告について」**

**大阪市：**本日の懇話会では２０２５年に向けて病床機能の分化及び連携を推進し、目指すべき医療提供体制を確保するため、大阪市として今後、実施していくべき事についてご議論いただきたい。

具体的な目標は、病院における病床機能報告率を１００%とし、地域医療構想の進捗を見るデータである以上、適切な報告となることが必要であると考えている。

また、病床機能報告の分析結果等を病院と共有する場を持ちたいと考えている。この点についても、ご意見をいただきたい。

**（資料に基づき、大阪市健康局健康推進部健康施策課から説明）**

**【主な質問・意見とその回答】**

**（意見）**病床機能報告について、有床診療所に関しては難しい部分もあるが、大阪市内の報告率は１００%を目指していかなければならない。

**（意見）**今のところ回復期リハビリテーション病床や地域包括ケア病棟は、病床機能報告における「回復期」に一致するが、高度急性期・急性期病棟にも回復期の患者はいる。大阪市では回復期リハに関しては充足されているという話もあり、回復期病床を増やすというのも、少し疑問がある。

**（意見）**国の問題ではあるが、２０２５年のあるべき病床の比率を決めているのに、今分析しているのは病棟であり、この点について評価しないと、いつまでも解決できない。

**（意見）**特定入院料を算定するようなＩＣＵ等が高度急性期というのは分かるが、特定の機能を有しない一般病棟に関しては、「各病棟の実態に応じて選択する」ということだけで、具体例を示していただいていない。

**（意見）**今のところは病院が主観的に決めていいという状況で、杓子は出ていない。多くの大学特定機能病院は全て高度急性期と報告している実態もある。厚労省ではＤＰＣデータなどから、高度急性期の医療内容等を分析しており、将来的には仕分けしてくる可能性が高い。

**（意見）**急性期は今のままファジーなフレキシブルな感じの方がいいような気がしている。急性期というのは幅広く、先生方は報告しにくいとは思うが、今みたいに捉えてもらえる方が良いと思う。

**（意見）** 回復期と慢性期が整理されていない時点では、焦って回復期を目指していくより、現在の急性期、高度急性期を維持していくのが現実的には、対応として一番いいと思う。

**（意見）**地域医療構想では、大阪府で病床が約１万床不足する可能性があるが、地域医療構想の上には医療計画があり、医療計画の基準病床数が、最終的なその地域における上限とされているので、その計算式が今度新たに出る前に、その不足する病床の議論をするとややこしくなる。今のところ大阪は増やす可能性が出ている貴重な地域。大阪はしっかりと現実を見つめながら対応ができると思っている。一方で、病床を増やすというような議論が出れば、もう一つ地域医療構想の大事なところである人材の確保という問題がある。

**（意見）**回復期が足りないというのは、どうしても違和感がある。もともとの病床機能でいう回復期は「急性期の後の回復期」という意味で使われたものだと思っている。急性期の後のポストアキュートという意味合いがあった方が良かったのかもしれない。回復期と慢性期との区分は微妙で、３区分で見る方が実態に即している気がする。

**（意見）**慢性期に関しては半分ぐらいを在宅に回すというのが全国的な平均である。２５対１の医療療養型の病床は介護医療院に転換していったらどうかという話があるが、大阪の場合は療養病床もそれほど余っていないので、その話もここで議論することにはならないと思う。

**■（２）「地域医療介護総合確保基金について」**

**（資料に基づき、大阪市健康局健康推進部健康施策課から説明）**

**【主な質問・意見とその回答】**

**（質問）**病床転換について、２０年以内に、近代化補助金、スプリンクラー補助金を受けている病院は対象外か。

**（回答）**今のところ使えないという縛りは無く、対象となる。他の基金で増改築した分についても対象になる。

**（意見）**基金の利用が少ないのは、先行きが不透明で、本当に回復期に転換していいのか分からない、という理由が一番なのではないか。

**（意見）**現状は、それぞれ地域で悩んでいる状況である。使おうと思った時には一気に使われる可能性もあるので、出来ることなら基金の金額を下げずにいられたらよい。

**（意見）**もし大阪府下で１万床増えるようなことがあれば、医師も足りなくなるが、人材確保に使える基金についても、議論できるようにお願いしたい。

**■（３）その他**

**【主な質問・意見とその回答】**

**（意見）**「公的医療機関等２０２５プラン」を基本的な資料として地域医療構想を進めると、民間病院としては、まず公的医療機関等のプランがあることから、違う方向に行く懸念があるので、その使い方をこの懇話会で議論していった方が良いのではないか。

**（意見）**プランありきで、陣取りになってしまってはならない。公的医療機関等で税金を投入する政策医療については、勝手に進めるのではなく、懇話会でも議論をするべきである。

**（委員）**公的医療機関の立場としては、大阪のように圧倒的に民間医療機関が多いところで、１４、５の公的医療機関だけで絵を書いてもどうなるか分からないので、大阪市全体で考えた方が良いと思う。どうしていいか分からずに、先走って書いてしまうところもあるかもしれないので、色んな形で情報の共有をはかっていくのがいい。

**（委員）**大阪市内で混乱が起こらないように懇話会がひとつのいい機会になると思う。委員の先生方も中立的な立場、現場の立場として色々な形でご発言いただければありがたい。今後の公的医療機関等の報告も含めて、この懇話会で議論していきたい。